

2026 EDITION

# BrightAcademy Engineering Bridge

## 詳細カリキュラム

特定技能2号（自動車整備）評価試験 対策プログラム  
全22レッスン＋過去問演習2セット／4ヶ月・約154日間

---

運営

**合同会社WBT** (WithBrightTomorrow)

企業・監理団体・登録支援機関向け資料

## プログラム概要

BrightAcademy Engineering Bridge は、技能実習修了者・特定技能1号在留者を対象に、特定技能2号（自動車整備）評価試験の合格に必要な知識と技術を体系的に提供する学習プログラムです。eラーニングによる反復学習と、現場での対面実技指導を組み合わせたハイブリッド形式により、学科・実技の両面から着実な実力養成を図ります。

|        |                                                   |
|--------|---------------------------------------------------|
| プログラム名 | BrightAcademy Engineering Bridge（特定技能2号 自動車整備コース） |
| 運営     | 合同会社WBT（WithBrightTomorrow）                       |
| 対象者    | 技能実習修了者・特定技能1号在留者で、特定技能2号（自動車整備）試験の合格を目指す方        |
| 形式     | eラーニング（メイン）＋対面実技指導（30分×24回・計12時間）のハイブリッド          |
| 期間     | 4ヶ月（約154日間）                                       |
| レッスン数  | 全22レッスン＋過去問演習2セット                                 |
| 学習サイクル | 1レッスン＝7日間サイクル（日別に3～4問の復習問題付き）                     |
| 言語対応   | 日本語・インドネシア語併記（ルビ付き）                               |
| 講師     | インドネシア人講師1名（業務委託）＋合同会社WBT代表                       |
| 教科書    | 独自開発の5章17パート構成テキスト（日本語・インドネシア語・SVG図解付き）           |

### ハイブリッド学習の設計思想

理論分野（法規・エンジン・シャシ・電装・診断）はeラーニングで反復学習し、測定・分解・組立などの実技分野は対面指導で確実に習得します。eラーニングは受講者の勤務シフトに合わせて時間や場所を選ばず学習でき、対面実技指導は1回30分の短時間集中形式（計24回・12時間）で、業務への影響を最小限に抑えながら継続できる構成としています。

#### 受講実績

第1期生5名が2026年3月より受講中です。清田自動車株式会社 of the 現場において対面実技指導を実施しており、現場密着型の指導ノウハウをカリキュラムに継続的に反映しています。

#### 料金・助成金について

受講料金および人材開発支援助成金等の活用については、別資料「料金表・助成金活用ガイド」をご参照ください。

## 目標とする試験：自動車整備分野特定技能2号評価試験

本プログラムは「自動車整備分野特定技能2号評価試験」の合格に必要な知識と技術を体系的に提供することを目的としています。試験の概要は以下のとおりです。

|      |                                                     |
|------|-----------------------------------------------------|
| 試験名称 | 自動車整備分野特定技能2号評価試験                                   |
| 実施方式 | プロメトリック株式会社によるCBT方式（コンピュータ・ベースド・テストング）              |
| 学科試験 | 四択形式・40問・試験時間80分                                    |
| 実技試験 | CBT判断試験・3課題・試験時間30分                                 |
| 合格基準 | 学科試験・実技試験ともに正答率60%以上                                |
| 試験水準 | 2級自動車整備士と同程度                                        |
| 受験資格 | 満17歳以上であること、および道路運送車両法に基づく認証を受けた事業場（認証工場）での実務経験3年以上 |

### 出題分野とカリキュラムの対応

| 出題分野     | 主な内容                                    | 対応レッスン                |
|----------|-----------------------------------------|-----------------------|
| 法規・点検    | 道路運送車両法、特定整備制度、整備主任者の職務、法定点検（12ヶ月・24ヶ月） | Lesson 2～4、6～7        |
| エンジン     | 4サイクル原理、燃焼メカニズム、潤滑・冷却装置、燃料・吸排気装置        | Lesson 10～11、14       |
| シャシ      | 動力伝達装置（AT/CVT/MT）、制動装置、足回り              | Lesson 12～13、15       |
| 電装       | 電気回路、バッテリー・始動・充電系、センサー・CAN通信            | Lesson 17～19          |
| 故障診断     | OBD-II、DTC読解、スキャンツール操作、診断フロー            | Lesson 20～21          |
| 実技（判断試験） | 測定機器の取り扱い、分解・組立・トルク管理の判断                | Lesson 8、14～15+対面実技指導 |

#### 2級自動車整備士水準への対応

試験水準が2級自動車整備士と同程度とされていることを踏まえ、本カリキュラムは2級整備士試験の頻出領域（エンジン・シャシの構造理解、電装系の回路読解、故障診断の手順）を重点的にカバーしています。令和2～5年度の過去問演習2セットを通じて、出題傾向に即した実戦形式の対策を行います。

# 学習設計：4ヶ月ロードマップと7日サイクル学習法

## 4ヶ月の学習ロードマップ

| 月  | テーマ              | 主な学習内容                                    | レッスン数              |
|----|------------------|-------------------------------------------|--------------------|
| M1 | 導入・法規・言語・点検基礎    | 試験の全体像、道路運送車両法、整備主任者、専門用語、12ヶ月点検          | 6レッスン              |
| M2 | 点検応用・測定・エンジン・シャシ | 24ヶ月点検、測定機器、エンジン基礎、動力伝達装置、制動装置、中間確認テスト①   | 7レッスン              |
| M3 | 実技演習・電装系         | シリンダーヘッド分解・組立、ブレーキO/H、電気回路、CAN通信、中間確認テスト② | 6レッスン              |
| M4 | 故障診断・総仕上げ        | OBD診断、スキャンツール実習、総合模擬試験、過去問演習（令和2～5年度）     | 3レッスン＋総仕上げ＋過去問2セット |

## 7日サイクル学習法

1レッスンを7日間かけて消化します。初日に本編を学習し、2日目以降は日替わりの復習問題（各日3～4問）で同じテーマを異なる角度から繰り返し確認することで、知識の定着率を高める設計です。



翌週、次のレッスンへ — 22レッスンを同じリズムで反復

### 進捗管理システム

レッスンごとの理解度（正答率・学習履歴）をデータベースで管理し、受講者ごとの弱点を可視化します。中間確認テスト①②（Lesson 9・16）の結果と合わせて、講師が個別の補強ポイントを特定し、対面実技指導の時間配分に反映します。

## 月別カリキュラム詳細（1）

### M1 導入・法規・言語・点検基礎

全6レッスン

最初の1ヶ月で試験の全体像を把握し、学科試験の土台となる法規知識と専門用語を固めます。あわせて法定点検の基礎を学び、現場実務と試験知識を早期に接続します。

| # | レッスントイトル               | カテゴリ | 内容                                     |
|---|------------------------|------|----------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション・試験の全体像       | 導入   | 特定技能2号試験の構成（学科・実技）、合格基準、スケジュール感、学習の進め方 |
| 2 | 道路運送車両法①（目的・車両区分・車検制度） | 法規   | 法の目的、自動車の種別・区分、車検制度の概要、整備命令            |
| 3 | 道路運送車両法②（特定整備制度・法規基礎）  | 法規   | 特定整備制度、分解整備と特定整備の違い、電子制御装置の整備          |
| 4 | 整備主任者・責任とコンプライアンス      | 法規   | 整備主任者の選任要件・職務、点検整備記録簿、安全衛生管理           |
| 5 | 専門用語（日本語）基礎            | 言語   | 自動車整備の頻出用語200語、日本語・インドネシア語対照表、読み方と使い方  |
| 6 | 法定点検①（12ヶ月点検の手順・記録）    | 点検   | 12ヶ月点検56項目の実施手順、点検記録簿の記入方法、不具合発見時の対応   |

#### M1の到達目標

試験制度と学習計画を自分の言葉で説明できる。道路運送車両法の基本概念（車検制度・特定整備・整備主任者）を理解し、12ヶ月点検の手順と記録方法を実務で再現できる。頻出専門用語200語を日本語・インドネシア語の両方で運用できる。

## 月別カリキュラム詳細（2）

## M2 点検応用・測定・エンジン・シャシ

全7レッスン

2ヶ月目は点検実務の応用と精密測定を経て、試験の中核であるエンジン・シャシ分野に本格的に入ります。中間確認テスト①で前半の理解度を確認し、弱点を早期に補強します。

| #  | レッスントイトル                   | カテゴリ | 内容                                       |
|----|----------------------------|------|------------------------------------------|
| 7  | 法定点検②（24ヶ月点検・チェックリスト実習）    | 点検   | 24ヶ月点検の追加項目、車検との関係、実務的なチェックリスト運用         |
| 8  | 測定機器の取り扱い（ノギス・マイクロメーター）    | 実技基礎 | ノギスの目盛り読み方、マイクロメーターの測定原理、精密測定の実践         |
| 9  | 中間確認テスト①（第1～8回の復習）         | 復習   | レッスン1～8の理解度確認、弱点分析、補強ポイントの整理             |
| 10 | ガソリン・ディーゼルエンジン基礎①（構造・部品名称） | エンジン | 4サイクル・2サイクルの原理、シリンダ・ピストン・クランク機構、部品名称     |
| 11 | ガソリン・ディーゼルエンジン基礎②（燃焼・試験対策） | エンジン | 燃焼メカニズム、点火・噴射タイミング、潤滑・冷却装置、整備士試験頻出問題     |
| 12 | 動力伝達装置（AT/CVT/MT）          | シャシ  | クラッチ構造、マニュアル/オートマチック変速機、CVTの原理、トルクコンバーター |
| 13 | 制動装置（ブレーキ・ABS）             | シャシ  | 油圧ブレーキの構造、ディスク/ドラム、ABS制御、パーキングブレーキ       |

## M2の到達目標

24ヶ月点検と車検の関係を整理して説明できる。ノギス・マイクロメーターを正確に読み取り、測定値を記録できる。エンジンの構造・燃焼原理、動力伝達装置・制動装置の仕組みを図解とともに理解し、試験形式の問題に対応できる。

## 月別カリキュラム詳細 (3)

## M3 実技演習・電装系

全6レッスン

3ヶ月目は実技試験（CBT判断試験）の核となる分解・組立・トルク管理の演習と、学科の重要分野である電装系を学びます。中間確認テスト②で後半戦に向けた実力を点検します。

| #  | レッスンタイトル             | カテゴリ | 内容                                   |
|----|----------------------|------|--------------------------------------|
| 14 | シリンダーヘッド分解・組立・トルク管理  | 実技   | シリンダーヘッドの分解手順、ガスケット交換、締め付けトルクの規定と管理  |
| 15 | ブレーキキャリパーO/H・足回り     | 実技   | キャリパーのオーバーホール手順、パッド交換、足回り点検とトルク管理    |
| 16 | 中間確認テスト②（第10～15回の復習） | 復習   | エンジン・シャシ・実技の理解度確認、弱点補強               |
| 17 | 電気回路の基礎と回路図読解        | 電装   | オームの法則、直列/並列回路、回路図記号の読み方、配線図の見方      |
| 18 | バッテリー・始動・充電系         | 電装   | バッテリーの構造と点検、スターターモーター、オルタネーター、充電制御   |
| 19 | センサー・アクチュエーターとCAN通信  | 電装   | 各種センサー（O2、水温、クランク角）、ECU制御、CAN通信プロトコル |

## M3の到達目標

シリンダーヘッドの分解・組立を規定トルクに沿って実施し、手順を判断問題形式で正しく選択できる。ブレーキキャリパーのオーバーホール手順を理解し実践できる。電気回路の基礎から回路図読解、CAN通信までを体系的に説明できる。

## 月別カリキュラム詳細（4）

**M4** 故障診断・総仕上げ

全4レッスン+過去問演習2セット

最終月は現代の整備現場に不可欠な故障診断技術を学び、総合模擬試験と過去問演習で試験本番への対応力を上げます。

| #    | レッスンタイトル             | カテゴリ | 内容                                    |
|------|----------------------|------|---------------------------------------|
| 20   | 故障診断①（OBD・DTC・診断フロー） | 診断   | OBD-IIの概要、DTCの読み方、故障診断のフローチャート作成      |
| 21   | 故障診断②（スキャンツール実習・記録）  | 診断   | スキャンツールの接続と操作、データモニター、フリーズフレーム、診断結果記録 |
| 22   | 試験直前対策・総合模擬試験        | 総仕上げ | 全分野の総合模擬試験、時間配分戦略、試験当日の注意事項           |
| 過去問① | 令和2～3年度過去問演習         | 過去問  | 法規・エンジン・シャシ分野の過去問実践                   |
| 過去問② | 令和4～5年度過去問演習         | 過去問  | 電装・診断・総合分野の過去問実践                      |

**過去問演習の設計**

令和2～5年度の出題傾向を分析した実戦形式の演習セットです。過去問①では前半分野（法規・エンジン・シャシ）、過去問②では後半分野（電装・診断・総合）を扱い、CBT方式を想定した時間配分の訓練も組み込んでいます。演習結果は進捗管理システムに記録し、直前期の重点復習に活用します。

**試験直前期のサポート**

総合模擬試験の結果をもとに、受講者ごとの弱点分野を特定し、対面実技指導の最終回で個別に補強します。あわせて、CBT受験時の操作手順や当日の注意事項についても案内し、受講者が実力を発揮できる状態で試験に臨めるよう支援します。

## 対面実技指導（30分×24回・計12時間）

eラーニング22レッスン+過去問演習2セットと併用するハイブリッド形式として、対面実技指導を30分×24回（計12時間）実施します。1回30分の短時間集中形式のため、業務スケジュールへの影響を最小限に抑えながら、4ヶ月間継続的に実技力を養成できます。

|       |                                         |
|-------|-----------------------------------------|
| 回数・時間 | 30分×24回（計12時間）／週1～2回ペース・4ヶ月間            |
| 実施場所  | 受講者の勤務先事業場（現場密着型）                       |
| 指導体制  | インドネシア人講師（業務委託）+ 合同会社WBT代表による指導         |
| 連動設計  | eラーニングの進捗・中間確認テストの結果を踏まえ、各回のテーマと時間配分を調整 |

### 対面実技指導の主なテーマ

| 領域     | 指導内容の例                           | 連動するレッスン       |
|--------|----------------------------------|----------------|
| 精密測定   | ノギス・マイクロメーターの実測、測定値の読み取りと記録の反復訓練 | Lesson 8       |
| 点検実務   | 12ヶ月・24ヶ月点検の実車での手順確認、点検記録簿の記入指導  | Lesson 6～7     |
| 分解・組立  | シリンダーヘッドの分解・組立、規定トルクでの締め付け管理     | Lesson 14      |
| 足回り・制動 | ブレーキキャリパーO/H、パッド交換、足回り点検とトルク管理   | Lesson 15      |
| 故障診断   | スキャンツールの接続・操作、DTC読解、診断結果の記録      | Lesson 20～21   |
| 弱点補強   | 中間確認テスト・模擬試験の結果に基づく個別補強          | Lesson 9・16・22 |

### 現場での指導実績

第1期生5名が2026年3月より受講中です。清田自動車株式会社現場において対面実技指導を実施しており、実際の整備業務と並行した学習運営（シフト調整・進捗管理・多言語コミュニケーション）のノウハウを蓄積しています。この現場知見は、カリキュラムと指導方法の改善に継続的に反映されています。

#### 受け入れ企業の負担を抑える設計

1回30分の短時間形式のため、受講者が業務を長時間離れる必要がありません。実施日時は事業場の繁閑に合わせて柔軟に調整し、社員の休憩時間・業務ピークを避けたスケジューリングを行います。

# 独自開発教科書（5章17パート構成）

本プログラムでは、特定技能2号評価試験の出題範囲に合わせて独自開発した5章17パート構成のテキストを使用します。全編にわたり日本語・インドネシア語を併記し、日本語にはルビを付しています。SVG図解・写真を多用し、言語の壁を越えて構造・原理を直感的に理解できる教材です。

| 章   | タイトル                  | パート数 | 主な内容                                           |
|-----|-----------------------|------|------------------------------------------------|
| 第1章 | エンジン【Mesin】           | 5    | 総論、エンジン本体、潤滑・冷却装置、燃料・吸排気装置、シリンダーヘッド分解・組立とトルク管理 |
| 第2章 | シャシ【Sasis】            | 4    | 動力伝達装置、ドライブライン、サスペンション・ステアリング、ブレーキ             |
| 第3章 | 電装【Listrik】           | 4    | バッテリー・充電・始動系、点火・計器系、照明・信号系、エアコン・電子制御           |
| 第4章 | 故障診断【Diagnosis】       | 2    | エンジン故障診断、シャシ・電装故障診断                            |
| 第5章 | 検査・コンプライアンス【Inspeksi】 | 2    | 検査基準・規格、安全・コンプライアンス                            |

## 教材の特徴

### 日本語・インドネシア語 完全併記

全パートで日本語とインドネシア語を対照配置。日本語にはルビ（ふりがな）を付し、専門用語の読み方まで確実に習得できます。試験は日本語で実施されるため、母語での理解と日本語での表現を同時に鍛える設計です。

### SVG図解・写真による視覚的理解

エンジン断面図、油圧回路、電気回路図などをSVG図解で表現。文章だけでは伝わりにくい構造・作動原理を、視覚的に理解できます。

### 試験出題範囲との対応

5章構成は特定技能2号評価試験の出題分野（エンジン・シャシ・電装・故障診断・検査法規）に対応。教科書のどこを学べば試験のどの分野に効くかが明確です。

### eラーニングとの一体運用

各レッスンは教科書の該当パートと紐づいており、動画・復習問題・テキストを行き来しながら学習できます。復習時の参照先が明確なため、自習効率が高まります。

## プログラムの特徴

BrightAcademy Engineering Bridge は、特定技能2号（自動車整備）に特化した数少ない体系的プログラムとして、以下の特徴を備えています。

1

### 特定技能2号×自動車整備×対面指導の専門プログラム

特定技能2号（自動車整備）に特化し、eラーニングと現場での対面指導を組み合わせた、国内でも希少な体系的プログラムです。

2

### 日本語・インドネシア語併記+ルビ付き教材

全教材で日本語・インドネシア語を併記し、日本語にはルビを付与。言語の壁を最小化し、専門知識の習得に集中できる環境を提供します。

3

### eラーニング+対面のハイブリッド

理論はオンラインで時間・場所を選ばず反復学習し、実技は対面（30分×24回・計12時間）で確実に習得。双方の長所を組み合わせた学習形式です。

4

### 7日サイクル学習法

1レッスン7日間×日替わり復習問題（各日3〜4問）で、忘却を防ぎながら知識の定着率を高めます。忙しい就労者でも無理なく続けられるリズム設計です。

5

### 独自開発教科書（5章17パート）

SVG図解・写真付きの5章17パート構成。試験出題分野に対応した章立てで、業界でも詳細度の高い水準を目指して開発した独自教材です。

6

### 過去問演習（令和2〜5年度）

令和2〜5年度の出題傾向を分析した実戦形式の過去問演習2セット。CBT方式を想定した時間配分の訓練まで含みます。

7

### 進捗管理システムによる弱点可視化

レッスンごとの理解度をデータベースで管理し、受講者ごとの弱点を可視化。中間確認テスト・模擬試験と連動した個別補強を行います。

8

### 現場密着型の運営実績

第1期生5名が2026年3月より受講中（清田自動車株式会社での現場で対面指導実施）。実際の整備現場と並行した学習運営の知見を、プログラム改善に反映し続けています。

### 私たちの姿勢

本プログラムは「合格させます」と約束するものではなく、特定技能2号評価試験の合格に必要な知識と技術を体系的に提供するものです。受講者本人の学習と、受け入れ企業の皆さまの現場でのご協力とあわせて、確かな実力養成を目指します。

## 導入のご相談・お問い合わせ

特定技能2号（自動車整備）人材の育成をご検討中の企業・監理団体・登録支援機関の皆さまからのご相談を承っております。受講者の状況（在留資格・実務経験・日本語レベル）に応じた導入プランをご提案します。

### 導入までの流れ

| Step | 内容        | 詳細                                                      |
|------|-----------|---------------------------------------------------------|
| 1    | お問い合わせ    | メールにてご連絡ください。対象者の人数・国籍・実務経験年数をお知らせいただくと、その後のご案内がスムーズです。 |
| 2    | ヒアリング・ご提案 | 受講者の状況と事業場の体制を伺い、学習スケジュール・対面実技指導の実施方法をご提案します。           |
| 3    | お見積り・契約   | 料金・助成金の活用可能性については別資料にてご案内します。内容にご納得いただいたうえでご契約となります。    |
| 4    | 受講開始      | アカウント発行・オリエンテーションを経て、4ヶ月間の学習を開始します。                     |

### 関連資料のご案内

受講料金・人材開発支援助成金等の活用については、別資料「料金表・助成金活用ガイド」をご参照ください。お問い合わせいただければ最新版をお送りします。



**BrightAcademy** ENGINEERING BRIDGE

運営 合同会社WBT（WithBrightTomorrow）

E-mail [info@withbt.com](mailto:info@withbt.com)

Web <https://withbt.com/>

本資料の内容は2026年時点の情報に基づいています。試験制度・実施方式等に変更される場合がありますので、最新情報は試験実施機関の公表内容をご確認ください。本資料の無断転載・複製はご遠慮ください。